



平成30年11月12日

各 位

会 社 名 **太洋物産株式会社**
代 表 者 名 代表取締役社長 柏原 滋
(コード：9941 東証JASDAQ)
問 合 せ 先 執行役員 総務部
役 職 ・ 氏 名 ジェネラルマネージャー 宮内 敏雄
電 話 (03) 5333-8080

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成29年11月14日に公表した業績予想を修正することとなりましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成30年9月期 通期個別業績予想値の修正（平成29年10月1日～平成30年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 23,500	百万円 260	百万円 160	百万円 130	円 97.92
今回修正予想(180930実績)B	20,055	95	16	9	7.44
増減額(B-A)	△3,444	△164	△143	△120	
増減率(%)	△14.6	△63.2	△89.7	△92.4	
ご参考(平成29年9月期)	23,819	401	337	301	227.10

修正の理由

平成30年度9月期事業年度におきまして、当社の主要商材である牛肉につきましては、現地生産国において依然価格が高騰しており、内外格差が少なくなったことから当事業年度末にかけ、外食産業側で輸入牛肉を原料とする商品の販売に慎重な姿勢に転じたことにより売上高が伸び悩み、畜肉調製品の販売も低調に推移したため取扱数量・売上高とも減少しました。鶏肉につきましても、ブラジルからの輸入量は一時落ち着いていたものの、春先から夏場にかけての国内相場の高騰を見込んだ輸入量の増加が上昇相場に水をかけ、再び価格が低迷し始めたことから、販売が低調となり、取扱数量・売上高とも減少しました。加工食品につきましては、タイ産を中心に外食産業向けに堅調に推移し、取扱数量・売上高とも増加したものの、当事業年度における売上高が200億55百万円(前事業年度比15.8%減)、営業利益95百万円(前事業年度比76.2%減)、経常利益16百万円(前事業年度比95.1%減)、当期純利益9百万円(前事業年度比96.7%減)となることから、平成29年11月14日公表の平成30年9月期業績予想を修正し、売上高を200億55百万円、営業利益95百万円、経常利益16百万円、当期純利益9百万円とさせていただきます。

(注) 本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上